

Windows 前提条件のインストール

Web Platform Installer を利用せずに環境を構築する場合は以下の手順で IIS, PHP, SQL Server をインストール後、TestRail をインストールしてください。

下記の実施で「前提条件のインストール」までが完了します。「空の TestRail データベースを作成する」以降は TestRail マニュアルに沿って進めてください。

PHP インストール

ダウンロード

PHP 7.4 のモジュールを[ダウンロード](#)します。(TestRail のバージョンによってサポートしている PHP バージョンは異なります。必ずご利用の TestRail バージョンの要件を確認してください。)

1. PHP 7.4 VC15 x64 Non Thread Safe 版の Zip モジュールをダウンロード後、任意のディレクトリに解凍
2. PHP インストールディレクトリ直下の「php.ini-production」のファイル名を php.ini に変更
3. Windows コマンドプロンプトを起動し、PHP インストールディレクトリで以下のコマンドを実行して PHP のバージョンが表示されることを確認

```
php.exe -v
```

php.exe の実行でエラーが発生する場合

php.exe の実行で 'vcruntime140.dll' のエラーが発生する場合、「Visual C++ XXXX 再頒布可能パッケージ」のインストールが必要です。

- `PHP Warning: 'vcruntime140.dll' 14.0 is not compatible with this PHP build linked with 14.16 in Unknown on line 0`

[ダウンロード](#) ページ遷移後、「すべてのダウンロード」>「その他のTools、Frameworks、そして Redistributables」からご利用の環境に合わせて [Microsoft Visual C++ Redistributable for Visual Studio XXXX] をダウンロードしてインストールします。デフォルトで表示されるバージョンよりも古いバージョンの OS を利用している場合は「以前のバージョンのダウンロード」から該当バージョンを選択してください。

Microsoft PHP Driver のダウンロード

TestRail の実行には Microsoft PHP Driver のインストールが必要です。

1. モジュールを[ダウンロード](#)します。
2. ダウンロードした ZIP ファイルを展開後、PHP のバージョン (本資料上は PHP 7.4 の NTS 版) に合わせて "php_sqlsrv" と "php_pdo_sqlsrv" を <PHP インストールディレクトリ>\ext ディレクトリに配置
3. PHP インストールディレクトリの php.ini の extension に配置したファイルを追記します。(ファイル名は、配置した *.dll に合せてください)
 - extension=php_sqlsrv_74_nts_x64.dll
 - extension=php_pdo_sqlsrv_74_nts_x64.dll
4. Windows コマンドプロンプトを起動し、PHP インストールディレクトリで以下のコマンドを実行して表示される PHP 拡張モジュール一覧の中に "sqlsrv" および "pdo_sqlsrv" の 2 つがあることをご確認ください。

```
C:\¥php-7.4.33>php -m
[PHP Modules]
bcmath
calendar
Core
ctype
date
dom
filter
hash
iconv
json
libxml
mysqlnd
pcre
PDO
pdo_sqlsrv
Phar
readline
Reflection
session
SimpleXML
SPL
sqlsrv
standard
tokenizer
xml
xmlreader
xmlwriter
zip
zlib

[Zend Modules]

C:\¥php-7.4.33>
```

Ioncube Loader のインストール

TestRail の実行には ioncube Loader PHP 拡張モジュールのインストールが必要です。Windows 用の ionCube ローダーを[ダウンロード](#)できます。どのバージョンをダウンロードするかについては、以下を参考にしてください。

- PHP Version 7.3 & 7.4 (NTS 版)
- Ioncube Loader
- Windows VC15 (Non-TS) (64 bits)

1. ファイルをダウンロード後、サーバー上に解凍します
2. 使用している PHP のバージョンに合わせたローダー拡張機能 (例 : ioncube_loader_win_7.4.dll) を PHP インストールディレクトリの "ext" ディレクトリに配置します。
3. php.ini ファイルに次の行を追加して拡張機能を有効にします。

```
zend_extension = ioncube_loader_win_7.4.dll
```

インストール後、Windows コマンドプロンプトを起動し、PHP インストールディレクトリで "**php.exe -v**" コマンドを実行して ioncube の情報が表示されることを確認します。

```
C:\php-7.4.33>php -v
PHP 7.4.33 (cli) (built: Nov  2 2022 15:06:48) ( NTS Visual C++ 2017 x64 )
Copyright (c) The PHP Group
Zend Engine v3.4.0, Copyright (c) Zend Technologies
with the ionCube PHP Loader v10.4.5, Copyright (c) 2002-2020, by ionCube Ltd.
C:\php-7.4.33>
```

PHP 拡張モジュールの有効化

TestRail を使用するには、次の PHP 拡張機能が必要です。不足している拡張モジュールを php.ini で有効化、インストールします。

- sqlsrv (前手順でインストール済み)
- curl
- json
- mbstring
- ioncube (前手順でインストール済み)
- zlib

有効化されている PHP 拡張モジュールは以下のコマンドで確認できます。

```
php.exe -m
```

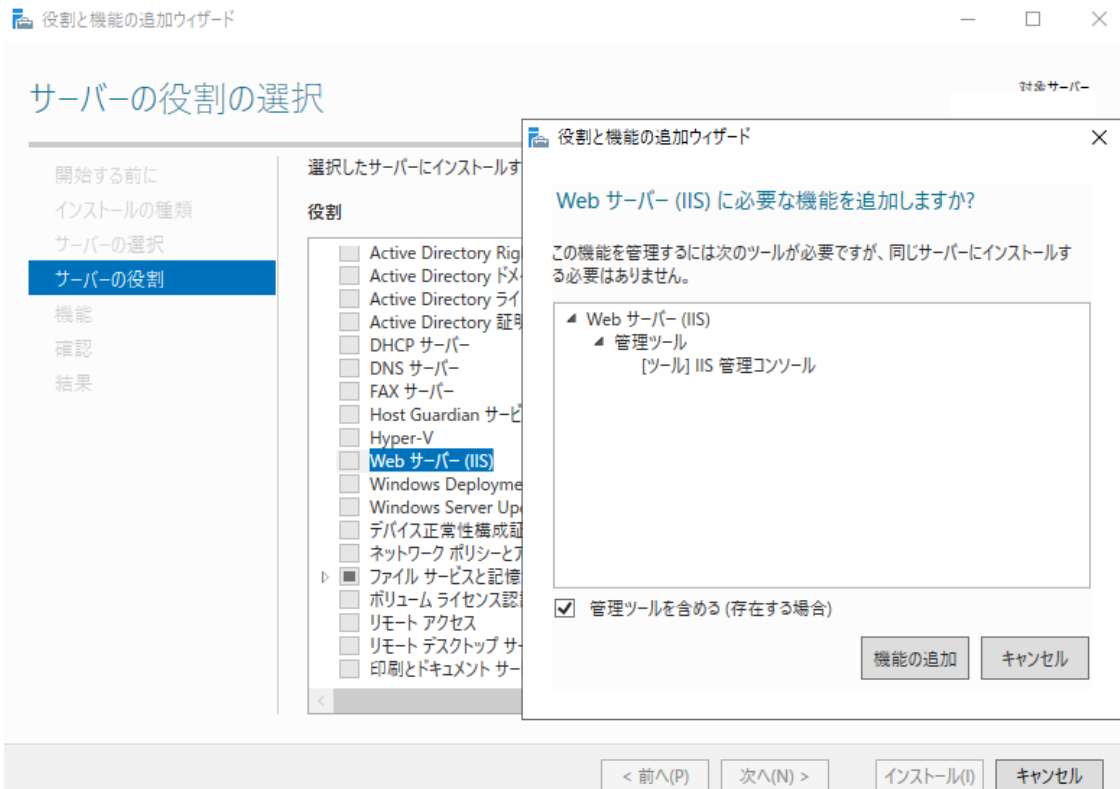
```
C:\php-7.4.33>php.exe -m
[PHP Modules]
bcmath
calendar
Core
ctype
curl
date
dom
filter
hash
iconv
ionCube Loader
json
libxml
mbstring
mysqlnd
pcre
PDO
pdo_sqlsrv
Phar
readline
Reflection
session
SimpleXML
SPL
sqlsrv
standard
tokenizer
xml
xmlreader
xmlwriter
zip
zlib

[Zend Modules]
the ionCube PHP Loader
```

IIS の設定

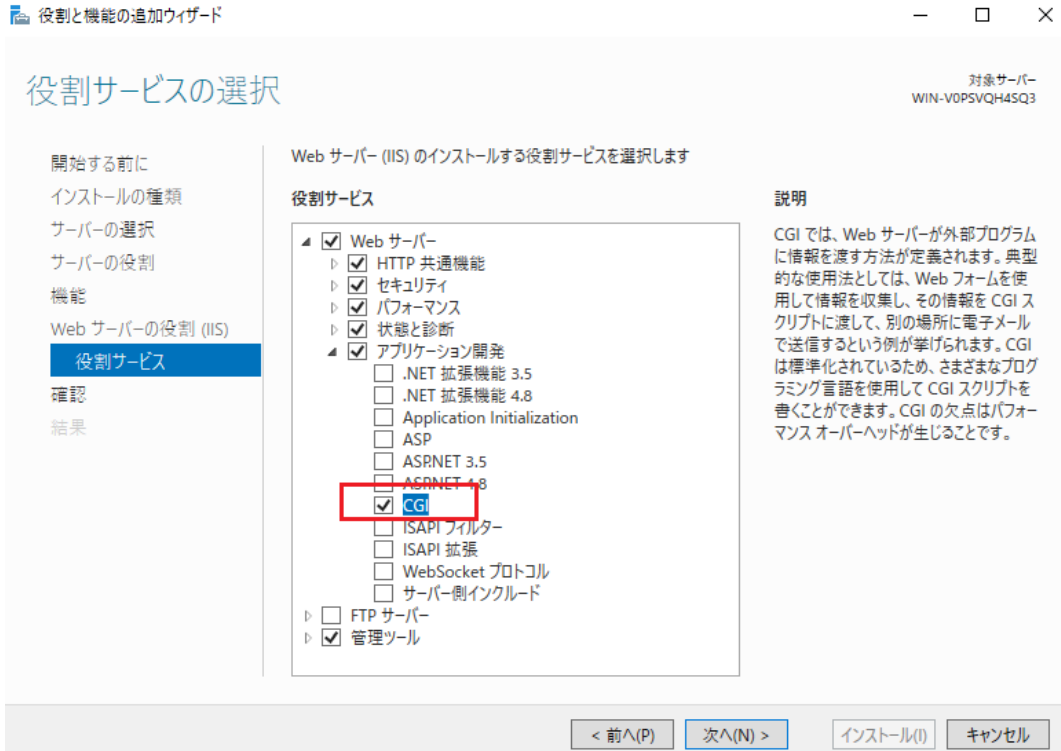
IIS インストール FastCGI の有効化

1. Windows メニューから「サーバーマネージャー」を管理者権限で実行
2. 「サーバーマネージャー ダッシュボード」画面 → 「役割と機能の追加」を選択
3. 「インストールの種類」、「サーバーの選択」はデフォルト設定のまま進める
4. 「サーバーの役割」で「Webサーバー(IIS)」をチェックし、確認画面で「機能の追加」ボタンを押下



5. 画面に従い進め、「役割サービスの選択」で以下にチェック

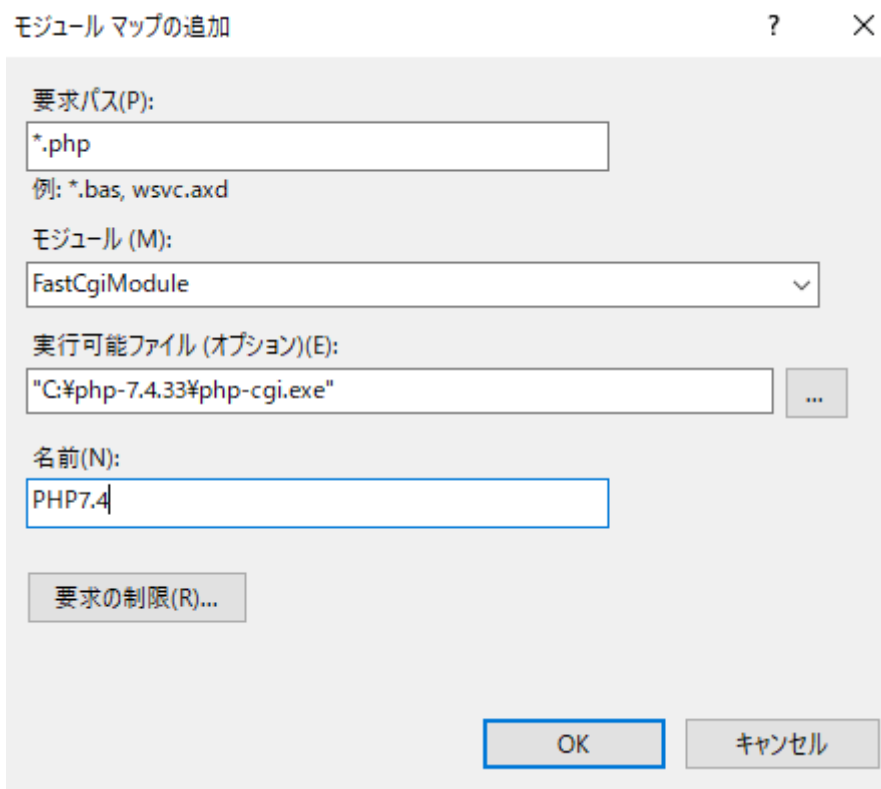
- Web サーバー > アプリケーション開発 > CGI



6. 画面に従い、「次へ」を選択して「インストール」ボタンを押下

IIS の PHP 設定

1. Windows メニューから「インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー」を管理者権限で実行
2. サーバー名を選択して "ハンドラーマッピング" をダブルクリック
3. "モジュールマップの追加" で以下の設定のモジュールマップを追加
 - 要求パス: *.php
 - モジュール: FastCgiModule を選択
 - 実行可能ファイル: <PHP インストールディレクトリ>php-cgi.exe を指定
 - 名前: 任意の名前



4. IIS 上でPHP が動作することを確認する

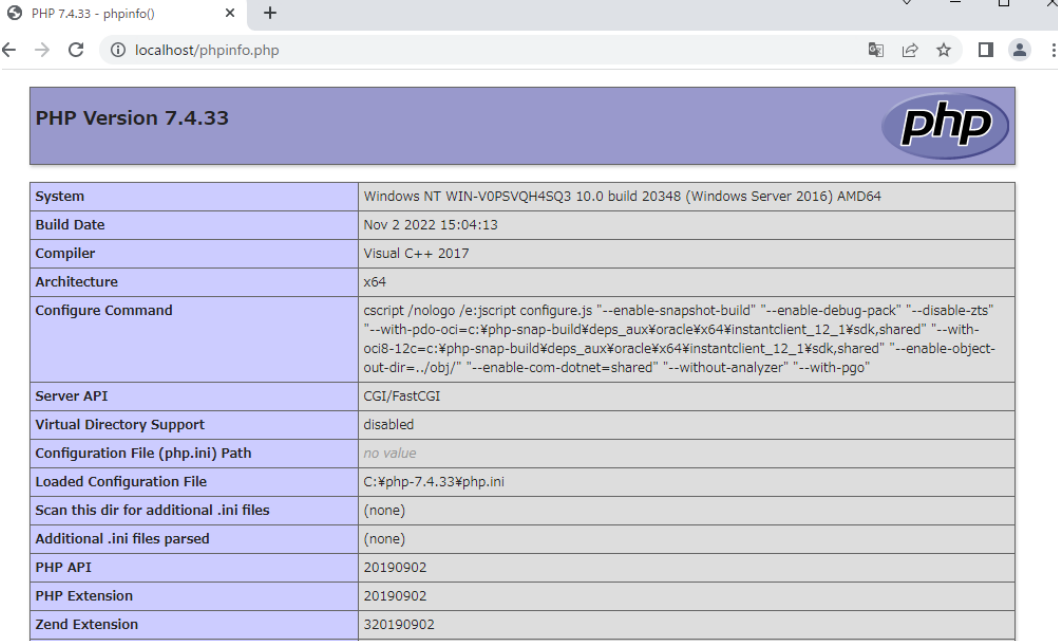
1. テキストエディタに以下記述して phpinfo.php ファイルを作成 (ファイル名は別名でも可)

```
<?php
    phpinfo();
?>
```

5. IIS で公開中のフォルダに作成したファイルを保存 (公開中のフォルダは IIS の Default Web Site の場合 "C:\inetpub\wwwroot" です。)

6. 作成したファイルにアクセスして、PHP の情報が表示されれば、IIS 上で PHP が利用可能な状態です。

- Default Web Site を利用した場合のアクセス例 : <http://localhost/phpinfo.php>



PHP Version 7.4.33	
System	Windows NT WIN-V0PSVQH45Q3 10.0 build 20348 (Windows Server 2016) AMD64
Build Date	Nov 2 2022 15:04:13
Compiler	Visual C++ 2017
Architecture	x64
Configure Command	cmd /c "php -n /e:phpinfo.php --enable-snapshot-build" "--enable-debug-pack" "--disable-zts" "--with-pdo-oci=c:\php-snap-build\deps_aux\oracle\x64\instantclient_12_1\sdk,shared" "--with-oci8-12c=c:\php-snap-build\deps_aux\oracle\x64\instantclient_12_1\sdk,shared" "--enable-object-out-dir=../obj/" "--enable-com-dotnet=shared" "--without-analyzer" "--with-pgo"
Server API	CGI/FastCGI
Virtual Directory Support	disabled
Configuration File (php.ini) Path	no value
Loaded Configuration File	C:\php-7.4.33\php.ini
Scan this dir for additional .ini files	(none)
Additional .ini files parsed	(none)
PHP API	20190902
PHP Extension	20190902
Zend Extension	320190902

7. セキュリティの安全性のため作成した phpinfo.php ファイルを削除します。

SQL Server のインストール

ODBC Driver for SQL Server のインストール

Microsoft ODBC Driver 18 for SQL Server (x64) を[ダウンロード](#)後、インストーラーを実行してインストールします

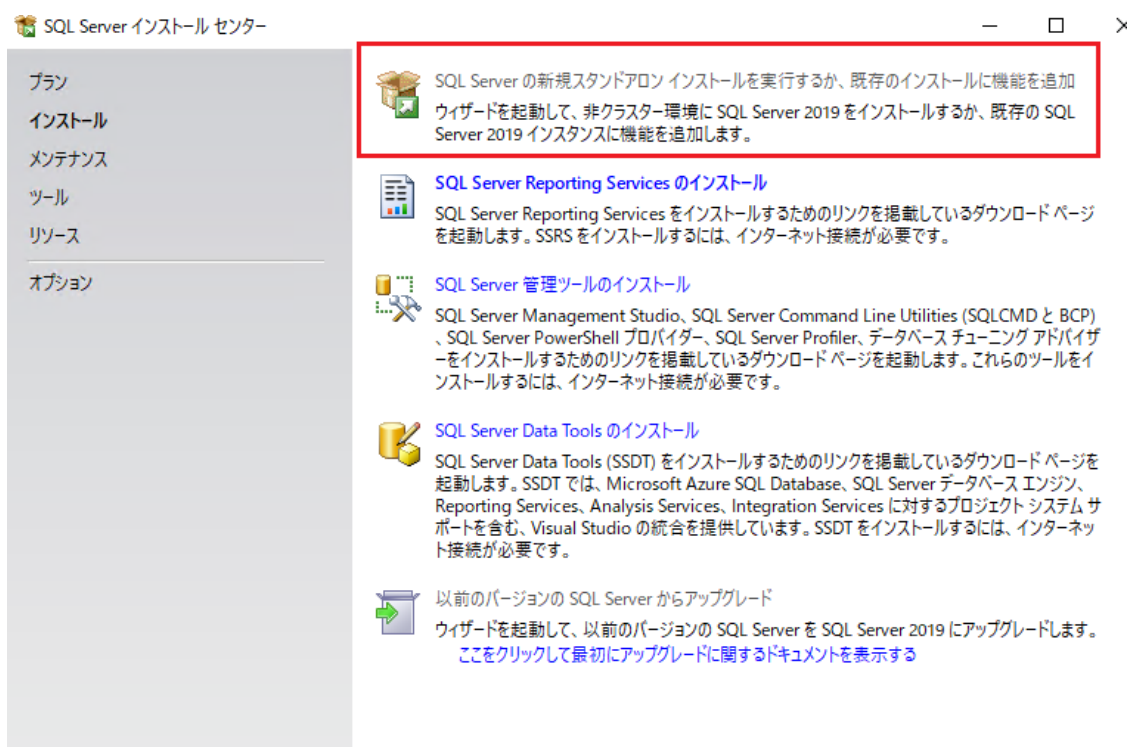
SQL Server 2019 のインストール

SQL Server 2019 をインストールします。Express 版の[ダウンロード](#)後、インストーラーを実行してインストールします。

1. インストール方法は、カスタムインストールを選択してください。



2. SQL Server の新規スタンドアロン インストールを事項するか、既存のインストールに機能を追加 を選択



3. デフォルトの設定で進めていき、[データベース エンジンの構成] > [サーバーの構成] > "認証モード"で「混合モード(SQLServer 認証と Windows 認証)」を選択してください。

データベース エンジンの構成

データベース エンジンの認証セキュリティ モード、管理者、データ ディレクトリ、TempDB、並列処理の最大限度、メモリの制限、Filestream の設定を指定します。

インストール ルール
機能の選択
機能ルール
インスタンスの構成
サーバーの構成
データベース エンジンの構成
機能構成ルール
インストールの進行状況
完了

サーバーの構成 データ ディレクトリ TempDB メモリ ユーザー インスタンス FILESTREAM

データベース エンジンの認証モードおよび管理者を指定します。

認証モード

Windows 認証モード(W)

混合モード (SQL Server 認証と Windows 認証)(M)

SQL Server のシステム管理者 (sa) アカウントのパスワードを指定します。

パスワードの入力(P): ●●●●●●●●●●●●●●●●

パスワードの確認入力(Q): ●●●●●●●●●●●●●●●●

SQL Server 管理者の指定

WIN-V0PSVQH4SQ3\Administrator (Administrator)

SQL Server の管理者には、データベース エンジンに対する無制限のアクセス権があります。

現在のユーザーの追加(O) 追加(A)... 削除(R)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

SQL Server Management Studio インストール

SQL Server Management Studio (SSMS) を[ダウンロード](#)後、インストールします。

今後の作業

上記の作業で TestRail インストールに必要な前提上のインストールが完了します。

これ以降のインストール作業は、マニュアルの[\[空の TestRail データベースを作成する\]](#)をご確認ください。